

【医療関係者向け】

よくあるご質問：ヘモクロンカプセル200mg

天藤製薬株式会社

2022 年 12 月作成

No.	質問	回答
1	PTPシートから出して一包化しても良いですか。	一包化はしないでください。本剤は、吸湿性の高いゼラチン膜を包皮した軟カプセル剤です。このため、PTPシートから取出して裸剤で保存すると、速やかに吸湿して水分量が上昇し、カプセル剤表面の粘着性が高まり、一包化により包材や他剤に吸着することが懸念されます。
2	カプセルの内容物を取り出して投与することは可能ですか。（カプセル破碎、簡易懸濁、チューブ投与）	カプセル内容物の取り出しと内容物のみの投与はしないでください。内容物のトリベノシドは、水にほとんど溶けず、粘稠性のある液体です。そのため、カプセルからの内容物全量を取り出しや溶媒中での溶解・分散が極めて困難です。
3	妊娠中の服用は可能ですか。	妊娠中の服用に関する安全性は確認されていないため、治療上の有益性が危険性を上まわると処方医が判断される場合にのみ投与してください。
4	授乳中の服用は可能ですか。	授乳中の服用の可否については、処方医のご判断をお願いしております。治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討してください。 なお、市販後の安全性調査及び自発報告において母体又は乳児での副作用報告は受けておりません。
5	透析（腎機能低下）患者の服用に関して何か問題はありますか。	特別な注意事項はございません。 服用の可否については、処方医のご判断をお願いしております。
6	副腎皮質ステロイドを成分として配合していますか。	配合しておりません。
7	トリベノシドとはどのような成分ですか。	合成された六炭糖 Glucofuranose（グルコフラノース）の誘導体で、薬理作用として、抗浮腫作用、創傷治癒促進作用、循環障害改善作用を有しております。 副腎皮質ステロイド、非ステロイド抗炎症薬（NSAIDs）とは構造、薬理作用ともに異なります。
8	長期服用は可能ですか。また、投薬日数制限はありますか。	現時点において長期服用による特別なリスク（蓄積性、中毒性、習慣性、耐性等）は報告されておらず、それが危惧される知見も無いため、特に服用期間は制限しておりません。 また、法規制上の投薬日数制限医薬品ではございません。 保険請求に関する個別事項については、審査機関へご照会をお願いしております。 なお、各患者での服用期間は処方医のご判断にて、予見可能な必要期間でのご処方をお願いしております。
9	トリベノシドを含む製剤（ボラザG坐剤、ボラザG軟膏）との併用は可能ですか。	単独投与時に比べ、トリベノシドの血中濃度が上昇し、副作用発現頻度の上昇のおそれがあるため、安全性の観点から注意喚起しております。
10	小児の服用は可能ですか。	小児への服用の可否については、処方医のご判断をお願いしております。小児を対象とした臨床試験は実施しておりません。
11	生物由来（ヒト又は動物由来）成分は配合していますか。	配合しております。 添加物のゼラチンはウシ由来原料を使用しております。